

2022年1月11日

筑肥線沿線駅への再エネ電気の購入について ～脱炭素社会実現に向けた再エネ環境価値の地産地消の取り組み～

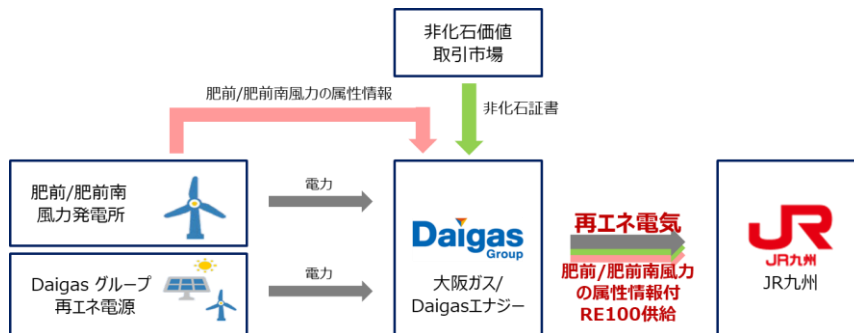
九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：青柳 俊彦、以下「当社」）は、大阪ガス株式会社から、再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）電気を購入し、佐賀県内の筑肥線沿線の10駅へ供給することについて合意しました。

当社は、2021年2月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同表明及び、JR九州グループにおいて、2050年までに二酸化炭素（以下、CO₂）排出量実質ゼロを目指す宣言を行いました。本件では、その目標に向けた取り組みの一つとして再エネ電気を購入し、CO₂を排出しない電気を駅舎に供給するものです。

Daigasグループが保有する、佐賀県唐津市の肥前・肥前南（以下、肥前）風力発電所を含む再エネ電源で発電された電気と、肥前風力発電所のトラッキング情報^{*1}を付与した非化石証書^{*2}を組み合わせた「再エネ電気」を、佐賀県内の筑肥線沿線の駅舎で使用することで、「再エネ環境価値の地産地消」を行います。

- *1 発電所の名称や所在地、発電方法、発電量、発電時間などの環境価値の由来を明らかにする情報
- *2 非化石エネルギー源に由来する環境価値を証書化したもの

- 供給対象駅
筑肥線10駅（右図参照）
肥前久保駅～伊万里駅間の各駅
- 供給開始予定
2022年1月17日以降順次
- 再エネ電気のイメージ



当社は、引き続きグループで2050年までに、CO₂排出量実質ゼロの実現に向けた取り組みを推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。